

平成 26 年度における札幌市の防犯の取組について

1 平成 26 年度札幌市防犯セミナー

(1) 会 場：宮の沢若者活動センター(生涯学習センターちえりあ内)体育室

(2) 日 時：(同一内容で 2 回実施)

・平成 27 年 3 月 7 日 (土) 14:00 ～ 16:00

・平成 27 年 3 月 8 日 (日) 10:00 ～ 12:00

(3) 概 要：

① 参加者： 3 月 7 日：42 組 102 名

3 月 8 日：49 組 108 名

(定員各回とも親子 50 組)

② 内 容：

ア 第 2 次基本計画の概要説明

講演者：区政課長

イ 札幌市内の犯罪情勢及び子どもの声掛け事案等について

講演者：北海道警察

ウ あんぜんパワーアップセミナー（親子で学ぶ安全・安心セミナー）

講演者：「うさぎママのパトロール教室」 主宰 武田 信彦氏

※詳細については、別紙参照。

2 犯罪のない安全で安心なまちづくり等協議会

(1) 会 場：札幌市民ホール 2 階 第 1 会議室

(2) 日 時：平成 27 年 3 月 16 日 (月) 13:30～15:00

(3) 概 要：

① 参加者：

- ・北郷親栄第一町内会会長
- ・北海道警察本部生活安全部専任参事官、課長補佐
- ・札幌地区防犯協会連合会会長
- ・中央区連合町内会連絡協議会会長、北区連合町内会運営協議会会長、東区「声かけあい、支えあう、安心安全なまちづくり区民協議会」会長、白石区町内連合会連絡協議会会長、厚別区町内連合会連絡協議会会長、豊平区町内会連合会連絡協議会会長、北野地区町内会連合会副会長、南区連合町内会長連絡協議会会長、西区連合町内会連絡協議会会長、手稲区連合町内会連絡協議会会長

- ・札幌市小学校長会会長、札幌市中学校長会副会長、札幌市 PTA 協議会副会長、札幌市青少年育成委員会"白石区青少年育成委員会連絡協議会議長"
- ・社福) 札幌市社会福祉協議会地域福祉課長
- ・一社) 札幌市老人クラブ連合会会長
- ・一社) 札幌消費者協会専務理事
- ・公社) 北海道家庭生活総合カウンセリングセンター副理事長
- ・札幌市商店街振興組合連合会専務理事
- ・北海道コカ・コーラボトリング(株)広報・CSR 推進部長
- ・(株)ローソン北海道エリアサポート部アシスタントマネージャー

② 内 容：

- ア 札幌市内の犯罪情勢及び特殊詐欺被害の状況について
講演者：北海道警察
- イ 地域防犯活動について（活動報告）
講演者：北郷親栄第一町内会
- ウ 第2次札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画
講演者：市民まちづくり局

3 地域安全サポーターズの取組

(1) 登録事業者数：320 事業者（平成 27 年 3 月 11 日現在）

(2) 主な活動事例：

① 特殊詐欺啓発チラシの寄贈

- ・目 的：
札幌市で高齢者が被害者となる特殊詐欺被害が多発し、被害が深刻化していることから、高齢者と接する機会の多い事業者と連携して特殊詐欺の啓発を図った。
- ・事 業 者：株式会社あいプラン やわらぎ斎場
- ・内 容：啓発資材の寄付
特殊詐欺や消費トラブル等高齢者が被害に遭いやすい犯罪に関する広告付啓発チラシを作成し、札幌市に寄付した。
- ・寄付枚数：13 万枚（市内全町内会への回覧、市老連、高齢者施設などに配布）



② 地域の防犯研修会への参加

- 会議名：厚別区防犯研修会
- 日時：平成27年3月6日（金） 13:30 ～ 15:30
- 場所：新さっぽろアーキシティホテル5階ホール
- 概要：

主 催：厚別区防犯ネットワーク

（区内の防犯関係団体、地域住民及び行政など関係機関が協働により安全で安心なまちづくりを進めることを目的として「あつべつ区民協議会」に設置する組織）

テ ー マ：「子どもの安全どうやって守る？」

講 演 者：（地独）北海道総合研究機構 北方建築総合研究所
環境科学部 部長 松村 博文

参加人数：約70名（町内会防犯部、PTA、地域防犯サポーターズなど）

内 容：

- ・区内の防犯活動団体や学校関係者、地域住民などが参加し、「子どもの安全、どうやって守る？」をテーマに、連合町内会単位で、子どもの安全確保の取組方法などについてワークショップ形式で検討。
- ・地域単位でグループを構成し、ディスカッションを行った（8グループ）
- ・厚別区内の地域安全サポーターズが参加し、町内会・学校などの地域内の他の防犯活動団体や住民と交流を図り、防犯活動の活性化を進めるきっかけとした。



厚別区防犯研修会



ワークショップの様様

4 その他の活動

（1）街頭啓発

① 自転車盗防止

概要：チラシ・啓発品を配布し、交通事故防止と併せて、駐輪場使用と「ツーロック」、防犯登録の励行等の啓発活動を行い、生活安全と交通事故防止の両面指導を実施した。交通安全推進委員会と合同で実施

日時：平成 26 年 5 月～11 月（毎月第 1・第 3 金曜日に実施）

期間中、全区において 11 回実施した。

場所：各区の地下鉄駅・ショッピングセンターなどの駐輪場、大通公園など



自転車盗防止啓発



街頭啓発の様様

② 女性の犯罪被害防止

概要：帰宅時間に合わせ地下鉄駅出入口付近にて、夜間の外出時に気を付けるよう注意喚起するとともに、ウェットティッシュなどを啓発グッズとして配布した。各区と道庁道民生活課、道警本部、各警察署と合同で実施。

日時：平成 26 年 7 月 7 日～18 日（各区が設定した任意の 1 日）

場所：地下鉄駅入口付近・構内等（全区で実施 ※豊平区と清田区は合同実施）



啓発の様様（豊平区）



啓発の様様（西区）

③ 歓楽街における街頭啓発

概要：薄野で開催されるイベント会場にて、札幌市民や訪れた観光客に対し、悪質な客引きを遭わないよう注意喚起するとともに、「飲酒運転の防止」や「女性の犯罪被害防止」について啓発を実施。

ア 第 5 回 薄野おもてなし縁市

日時：平成 26 年 7 月 18 日（金） 18：00 ～
会場：薄野地区（駅前通り 6 条～7 条付近）

イ SAPPORO CITY JAZZ in SUSUKINO ～すすきの音楽祭～

日時：平成 26 年 8 月 1 日（金） 18：00 ～
会場：南 4 条西 4 丁目すすきの交差点付近

ウ 夏季クリーン薄野パレード

日時：平成 26 年 8 月 6 日（水） 18：00 ～
会場：中央区南 6 西 4～南 8 西 4



薄野おもてなし縁市



街頭啓発の様様

④ 子ども・女性被害犯罪抑止活動

概要：子どもや女性の犯罪被害を防止するため、中央警察署、交通局、中央警備防犯協会、札幌龍谷学園高等学校、北星学園女子中学高等学校、専門学校北海道福祉大学と連携して、街頭啓発を実施。

日時：平成 26 年 8 月 25 日（月） 17：30 ～

場所：地下鉄大通駅 東西線地下 2 階コンコース付近



⑤ 特 子ども・女性被害犯罪抑止活動



街頭啓発の様様

概要：特殊詐欺被害を防止するため、中央警察署など関係機関と連携した街頭啓発を実施。

ア 路面電車祭

日時：平成26年9月7日（日） 10：00 ～ 16：00

会場：交通局電車事業所車両センター及び市電沿線

イ 終活フェスタ in さっぽろ

日時：平成26年9月19日（金） 10：00 ～ 17：00

会場：札幌エルプラザ3階ホール

ウ プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」試合会場

日時：平成27年2月27日（金）17：00～・28日（土）13：00～

会場：北海道立総合体育センター北海きたえーる



終活フェスタ in さっぽろ



「レバンガ北海道」試合会場

(2) 防犯講話（出前講座）

開催回数：47回

延べ受講者数：2,770名

対象：小学校、児童会館、町内会、高齢者福祉施設等



北白石小学校



清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会

○「安全パワーアップセミナー」について

コミュニケーションやチームワークに重きをおく演劇的手法を用いた全員参加のゲームを通して、子どもたちは安全のポイントを楽しみながら体感し、実践的に学ぶことができるプログラム。4つゲームエリアをデザインし、楽しい雰囲気のもと、安全のポイントが入った4つのゲームを実施（各15分）。

「安全パワーアップセミナー」は、子どもたちの安全に寄与する商品や活動に贈られる、第4回キッズデザイン賞優秀賞（フューチャーアクション部門）キッズデザイン協議会会長賞を受賞している。

■ よく見るゲーム(予防力アップ)

まわりをよく見ることは安全の基本。子どもが輪になって“ハンカチ落とし”を実施。ルールをいくつか入れることで、後ろや横をよく見る練習を行う。



■ よく聞くゲーム(予防力アップ)

まわりの音に敏感になることも安全には欠かせないことから、目を閉じて静かにして、様々な音を聞き、音の種類を数えたり、ベルを使ったりするゲームを実施。



■ つたえるゲーム(対処力アップ)

助けをもとめる、危険を知らせることは、非常に難しいことから、手振り身振りをつかうジェスチャーゲームを行うことでトレーニング。邪魔をするチームもいるので難易度がアップする。



■ にげるゲーム(対処力アップ)

逃げるためには、つかまれない、さわられないことが大事であることから、“新聞棒”をつかって人との距離を確認するゲームや、ちょっと変わったルールの鬼ごっこで逃げる力を育む。



■ ふりかえり・まとめ

それぞれのゲームに入っていた安全ポイントをみんなでも振り返る。子どもたち自身が気づいたことを丁寧に聞いて全体で共有する。演劇やワークショップの要素を取り入れることで、コミュニケーションの意識を高めながら、子どもが持っているちからを引き出す。

